

（第一面から）

影山鐵員

笑子養

いうが新聞記事に出て
 いる、不正でないとい
 えてほしい
 屋議員「労資関係から
 始まつてゐる」
 農商文助議員「労務省
 も町民なら工事の途中
 で言つてほしかつた」
 湯浅議員「どんな工事
 でも難癖をつければ何
 でもある」
 矢野議員「それでは不
 正を認めるといふこと
 になる、大ッピラに出
 されたのをどうするか
 湯浅議員「昨年の十二
 月、仲に入つて二われ
 たからこゝなる」

川上町長「昨年の十二月十三日に検定した、不正はないというので、代金支拂いをした、正当な工事である限り、代金は拂わねばならぬ、鈴木建設の下請けは伊藤、藤安太郎氏で、賃金の問題は、町が公入れで受渡したものを町がホテンする義務はない、伊藤氏から川上個人として不拂いを何とかしてくれといわれ仲に入つたが、暮の三十日かに三万円で解決したものと信じていた、こしになつて新聞に出てお

西函小の調整

西小学校と余裕教室のある東小学校との調整が先決問題であるとして、関根・松山の両委員を特別委員にあげて調整のための調査にあたることになった。

○東小学校は将来の発展を見越して中心市街の予二校として昨年建てたもので、当時の教育委員会としては所収のモデル校として施設を充実し、教職員の陣容を整えて、西小学校の通学区域を分割編入して両校とも同等に学級

○……と二つが昨年は予算措置が伴わず計画の一部分しか建築ができたので、通学区域を今割するところができず、来年はなんとか東小学校を増築して完成学校として通学区域を設けて並小学校の教室不足を解消したいと、今春の予算所議会で川上町長が言明していたように、この問題はよく差迫つて解決せねばならなくなっている。

かしいと思つた。矢野議員「その工事で、労働者というものは、いくらかでも主人に儲けさせようと協力するものだが、どうしても賃金を貰えないとすればこうして出るのではないが、栗石は小林氏が八坪以上は運んで足りないというのだから、足りないのは当然だ。疑念を多くのが議会の在り方だと考へ提案した、議案二十五名がいて不問に付していいものか」。影山議員「昨年の内に、何回もいわれた、それを善処するために監督を強化するよう、入札をこうするよう、理事者に申入れており、議会としては解決している。それによつて理事者は

のために生じた特殊事態に対しては財政的にも例外措置が講ぜられるべきだといわれている。

○この方針を決定した昨年の教育委員会でも、決定後「これは難しい問題だが町百年の大計のためにやらねばならない」としあるは委員の命とりになるかもしれない」と語り合つたほどだそうである。当初から問題の難しさを覚悟してスタートしたもので、こんどのなりゆきが注目されている。

善如してきた筈だ、議會人として喧嘩の仲に入つてどうこうするとはない、教育委員にも監督の責任がある、議會に要請された覚えはない、不正があれば断固として処分せねばならない、そういう業虐は入れないようになすべきだ、借金問題は私情である、湯中に入るべきでない、こんごういふことのないようにすればいい、矢野議長「過去にさかのぼつても、私情が出たであつても、町が釈明し、議會が疑惑をとくのが望ましい、聖点が毒う、私情だから吹っ飛ばせては疑惑は深まる、湯浅議長「この問題はいづれ明白になると思ふ」

川上町長「去年の十二月に解決ついたものど信じていた、さらに反省し、こんどの工華の行方、入札の方法に、設計の変更、に注意したい、工華監督の方法について、金をかけても充分にしたい」高橋議長「入札その他未然に不正の出ないように、そういう業態はできるだけ指名に入れたいようにしたい」などの発言があつた

下請ではない

伊藤安太郎氏語る

問題の「足中不正工華事件」の重要ポイントを握る伊藤安太郎氏はつぎのように語っている。

鈴木建設の鈴木社長や藤村与作氏は私を

下請ではない

伊藤安太郎氏語る

下請け業者として、賃金未拂いや不正工事の責任を負わせようとしたくらいでいるが、私は下請けをしただけではない、私に設計書を渡してくれず、鈴木氏や藤村氏が役場の監督の不分なのにツケ込んで不正工事をして共に強いた上に私は二十余名の労務者の賃金を未拂いにしてある。告訴した伊藤昇氏の指摘した点は事実であり、それ以外にもまだ、不正事実がある、警察や検察庁の取調べに対してはザックバランに真相を許しているが、この際、市民のために悪徳業者の反省を求めたいし、労務者の立場に立つて斗いたい、各地の労組から激励を求めている。

質餅の加工は
絶対信用ある当店へ

**クリスマス
ケーキ**

予約注文引受中

すてきな味
みことなデザイン


山陰菓子舗
 足寄町 観光通り 電話123番